

第 29 回建物・構築物検討会 議事録

1. 日時 平成 28 年 2 月 22 日 (月) 13 : 30 ~ 15 : 05

2. 場所 (一社) 原子力安全推進協会 13 階 A 会議室

3. 出席者 (順不同, 敬称略)

出席委員 : 久保主査 (東京大学), 北山副主査 (首都大学東京), 今村幹事 (東京電力), 辻 (JANSI), 高橋 (北海道電力), 水瀬 (東北電力), 佐藤 (東京電力), 大河内 (中部電力), 藤井 (北陸電力), 村上 (関西電力), 秋山 (中国電力), 増田 (四国電力), 北島 (九州電力), 佐藤 (電源開発), 奥谷 (日本原子力発電), 清水 (大林組), 藪内 (鹿島建設), 萩原 (清水建設), 羽場崎 (竹中工務店), 中島 (東芝) (計 20 名)

代理出席 : 吉賀 (三菱重工業・伊神代理) (計 1 名)

欠席者 : 宇賀田 (大成建設), 飯島 (日立 GE ニュークリア・エンジニア) (計 2 名)

常時参加者 : 森谷 (原子力規制庁) (計 1 名)

事務局 : 佐久間, 大村 (日本電気協会) (計 2 名)

4. 配付資料

資料 No. 29-1 第 28 回建物・構築物検討会議事録 (案)

資料 No. 29-2 耐震設計分科会 建物・構築物検討会委員名簿

資料 No. 28-3 JEAC4601 原子力発電所耐震設計技術規程 第 3 章 発刊準備版

資料 No. 28-4-1 耐震設計分科会 平成 28 年度活動計画 (案)

5. 議事

(1) 配付資料確認, 委員交代確認, 定足数確認,

事務局より, 代理出席者 1 名が紹介され, 規約に基づき久保主査の承認を得た。定足数確認時点で, 代理出席を含めて出席委員は 20 名で, 決議に必要な「委員総数の 3 分の 2 以上の出席 (16 名以上)」を満たしていることを確認した。

(2) 前回議事録の確認

事務局より, 資料 No. 29-1 に基づき, 検討会の前回議事録 (案) の概要説明があり, 正式議事録とすることが承認された。

(3) 建物・構築物検討会委員の変更について

事務局より, 資料 No. 29-2 に基づき, 検討会委員のうち, 第 28 回検討会以降の新任委員について紹介があった。なお, 第 28 回検討会以降の変更については, すでに耐震設計分科会で承認されている。

- ・大竹 宏 (東北電力) → 水瀬 和人 (同左)
- ・橋本 隆 (中国電力) → 秋山 将光 (同左)
- ・続 博誉 (九州電力) → 北島 幸一郎 (同左)
- ・武井 邦生 (電源開発) → 佐藤 博康 (同左)

・森山 健一（大成建設） → 宇賀田 健（同左）

(4) JEAC4601 改定について

主査より、JEAC4601-2008 の改定について紹介があった。耐震設計分科会及び原子力規格委員会の承認の後、最終的なフォーマットの調整をしているところであり、最新版は資料 No.29-3 である。本規格については検討会の委員の中で 3 回チェックを行っている。現状をあまり変えずに不適當なところを修正している。また、引用文献の書き方等をまとめている。本規格は手続きが終了し、各検討会のチェック待ちの段階であるので、なるべく早くチェックを終え、完成させたい。本件については、持ち帰り、2 月中に気づき事項を幹事宛てに送付することとなった。

(5) 原子力発電所耐震設計技術指針（重大事故等対処施設編）について

幹事より、JEAG4601-201X 原子力発電所耐震設計技術指針（重大事故等対処施設編）の検討状況について紹介があった。昨年 6 月に原子力規格委員会に中間報告し、9 月に原子力規格委員会に上程し、書面投票を行った。その結果、反対意見があり、12 月の規格委員会に再度上程したが、反対意見を覆すものでなく、議論が進んでいないとの判断を受け、再度検討することとなった。6 月を目途に規格委員会に上程する予定である。

(6) 平成 28 年度 活動計画について

幹事より、資料 No. 29-4-1 に基づき、平成 28 年度活動計画（案）の説明があった。また、活動計画を定めるにあたって参考となる、電中研の NRRC の研究、日本建築学会での RC 基礎部材等に関する指針の検討状況及び日本建築学会の「原子力耐震性能評価小委員会 耐震裕度評価 WG」の活動概要の紹介があった。審議の結果、資料 No.29-4-1 を分科会に提案することが承認された。なお、字句の修正は主査及び幹事に一任された。主な質疑・コメントは以下のとおり。

- ・平成 28 年度の建物・構築物検討会の主要な作業は、JEAG4601-2016 原子力発電所耐震設計技術指針のメンテナンス、JEAG4614-2013 原子力発電所免震構造設計技術指針の改定、JEAC4616-2009 鋼板コンクリート構造耐震設計技術規程については静観、JEAG4616-2009 乾式キャスクを用いる燃料中間貯蔵建屋の基礎構造の設計に関する技術規程及び JEAC46XX（仮称）原子力発電所の地震後の施設評価に関する基準については着手する、こととする。

(7) その他

次回検討会は、幹事から別途連絡することとなった。

以 上